

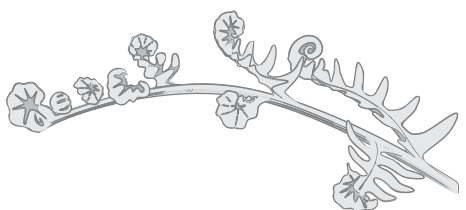


季節を知ったら
暮らしが楽しくなった

〔第八号〕

清明^{せいめい}

四月五日



新年度

今年の小中学校の入学式は、四月六日。新年度は春四月にスタートします。暦の一年の始まりが年明けで、学校の新年度が春というのは少々不思議な気がします。これには変遷がありました。もともと江戸時代、武士は年明けを仕事始めとしていました。これが明治維新で欧州の学校制度が導入されると、新年度は九月に改められます。その後、明治政府が国を富ませ、軍事力を強くする富国強兵制度を進め、四月に士官を募集するようになると、学校や官公庁もそれにならって四月を新年度とするようになったのです。

新年度、内宮前の宇治地区の子どもたちは進修小学校へ、五十鈴川沿いの桶部や鹿海などは四郷小学校へ、旧伊勢街道沿いの古市などは修道小学校へ通います。そして、その三つの校区の子どもたちは中村町の丘に建つ五十鈴中学校へ進むこととなります。

しかし、五十鈴中学校が出来たのは昭和四十一年四月のこと、それまではさらに遠い倉田山中学校までバスや自転車で通っていたのです。団塊の世代の方に伺うと、進修小学校のときには二クラスだったのが、倉田山中学校では十八クラスに膨れ上がり、教室が足りなくてプレハブ校舎で授業を受けたそうです。

あふれる光 五十鈴の波にゆれ

早蕨(さわらび)に風わたる 暖かき岸辺にそそぐ

昭和四十一年に作られた五十鈴中学校の校歌です。

清浄明潔を略して「清明」。明るく晴れわたった青空に、五十鈴川の波に校歌が響きます。

文 千種清美

